

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0103010505030902	事務事業名	日当山春光園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部	
				担当課	日当山春光園	
政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり		担当課長	末原 トシ子	
施策名	03	地域における福祉の推進		グループ	管理グループ	
基本事業名	04	高齢者の自立支援サービス		内線番号	42-0001	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 49 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	款	03 民生費			根拠法令・条例等 霧島市養護老人ホームの設置及び管理に関する条例、同施行規則	
	項	01 社会福祉費				
	目	05 養護老人ホーム費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	第6期高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である日当山春光園は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームで、昭和49年に経営主体を県社会福祉事業団より隼人町に移管され隼人町立となる。平成17年の合併により霧島市立となり現在に至っている。入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者が安心して日常生活を送れるよう支援を行っている。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また家庭的な雰囲気の中で生きがいを感じながら楽しく生活できるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。定員50名

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	入所者数	人	30	40	25	40	40
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	入所者	人	30	40	25	40	40
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	安心して日常生活を送れる。	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	介護・福祉サービスが受けられる	人	6,065	5,700	6,334	5,800	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成18年4月1日に、養護老人ホームの基準が改正され、入所者の介護保険サービスの利用が可能となった。また、入所者の高齢化が進み身体機能の衰えや認知症の発症などにより特別養護老人ホームやグループホームへ配置替えしなければならない入所者が増えた。なお、ご家族からは安心して預けられると喜ばれている。一方、議会からは養護老人ホームの入所率の低下、民営化計画に対して質問が出ている。

4. 事業費の推移

		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	25,403	30,217	24,216	27,606
		一般財源	千円	37,081	41,121	35,108	44,417
		事業費	千円	62,484	71,338	59,324	72,023
投入量							

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組)	(2) 平成28年度の成果
<p>&lt;取組内容を数値等により具体的に記載&gt;</p> <p>【入所者の生活面での介助】洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養、健康、投薬、預金等の管理、各種保険料の納付などの介助を行った。</p> <p>【職員会議・処遇会議の開催】職員会議・処遇会議を開催し、入所者が健康で安心して生活できるよう、洗濯・入浴・栄養管理等の様々な介助を行った。</p> <p>【行事等の開催】誕生会、新年会、節分、花見、七夕、夏祭り、園外研修、ハッピー大賞など、季節の行事を行った。</p> <p>【入所者の居室等の改善】入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替えを行った。</p>	<p>&lt;左記の実績(取組)による成果を記載&gt;</p> <p>【入所者の生活面での介助】入浴介助や生活指導、健康管理を行うなど、職員1人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送ることができた。</p> <p>【職員会議・処遇会議の開催】職員間の情報の共有化を図るとともに、入所者個々の問題点を把握し、その人にあつた処遇を行った。</p> <p>【行事等の開催】各種行事を開催し、季節感を大切にした。また、旬の食材を使用し季節感のある食事を提供し大変喜ばれた。</p> <p>【入所者の居室等の改善】ADLに合った部屋の配置や入所者間の人間関係の修復を行った。</p>

事務事業コード	0103010505030402	事務事業名	日当山春光園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	日当山春光園

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	地域社会で支えることができない社会的な援護を必要とする高齢者を受け入れて養護することは、基本事業の意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	老人福祉法による措置で、入所可能な施設は必要であるが、平成17年度の国の三位一体改革で、入所費用が市町村の一般財源により負担する形となったことや設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も可能なことから、必ずしも市で行う必要はない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の管理運営に関する苦情はないことから、成果が向上することはないが、入所者の希望を聞き、できるだけ叶え、生きがいを持って生活できるように今後も努力していく。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がほとんどない	養護老人ホームの設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も行えることから、事業が引き継がれれば影響はない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 横川長安寮運営事業 他の施設と連携できる。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入所者が、日常生活を営むために必要な食費・日用品費及び施設を維持するために必要な費用であり、削減することは難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	民営化や指定管理の方法によれば削減の余地がある。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	入所者の負担金は、入所者の収入によって階層により額が決まっており公平である。また、受益の機会についても、入所判定専門部会を経て入所されており公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	入所者が園での生活を、毎日楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように、各種サービスや行事等を工夫する。入所者一人ひとりにあった介助を行う。行事や座談会などを通して入所者と対話する機会を増やす。介護保険の認定者については、本人の希望に沿ったサービスの提供を行えるよう、関係機関と連携・調整を行う。「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」に基づき民営化が決定した場合には、移行に支障をきたさないように事業を進めていく。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	入所者が園での生活を、毎日楽しく快適に過ごし、生きがいをみだせるように各種サービスや行事等を工夫する。入所者一人ひとりにあった介助を行う。介護保険の認定者については、本人の希望に沿ったサービスの提供を行えるよう、関係機関と連絡・調整を行う。「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」に基づき民営化した場合は事業終了となる。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

